

題字「よみたん」には、紅イモのカラーを採用しています。

広報

よみたん

YOMITAN



平成23年
2011

1

No.630

よみたん

新年あけまして

おめでと〜ございませ〜ます

主な目次

- 確定申告についてP2
- 新年のあいさつP5
- よみたん見聞録P8
- ゆんたんざinfoP18

平成23年
読谷村

成人式

【とき】
平成23年1月9日(日)14時
【ところ】
村文化センター
鳳ホール

当日は壇上にて、新成人による10秒スピーチを実施します。

平成23年度 村・県民税兼国民健康保険税申告受付のお知らせ

今年も村・県民税の申告をしていただく時期になりました。平成22年分（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）の所得について送付された申告書に記入し、申告期間内に提出して下さい。収入がない方でも、各種証明（所得証明書・課税証明書等）の交付、国民健康保険税の軽減措置や高額療養費の支給、国民年金保険料の免除申請及び各種手当の受給ができなくなるなど不利益をこうむる場合がありますので、必ず申告書を提出して下さい。

また、郵送でも受け付けます。郵送される方は申告書の内容について後日お電話で確認させていただく場合がありますので、必ず連絡先を記入して下さい。

●申告書を提出しなくてもよい方

- ①所得税の確定申告書を沖縄税務署に提出する方
- ②65歳以上の公的年金収入のみの方で、年間の年金収入が148万円以下の方
- ③前年給与収入のみの方で、勤務先から「給与支払報告書」が読谷村役場へ提出されている方

平成23年度 村・県民税兼国民健康保険税申告受付日程表

受付日	指定区域	申告場所及び受付時間
2月16日（水）	喜名	受付場所 役場1階村民ホール
2月17日（木）	座喜味・親志	
2月18日（金）	伊良皆	
2月21日（月）	上地・波平	受付時間 9時～11時 13時～16時30分
2月22日（火）	高志保	
2月23日（水）	都屋・渡慶次・儀間	
2月24日（木）	宇座・瀬名波	受付期間 2月16日から 3月15日まで ※土・日は除く
2月25日（金）	長浜	
2月28日（月）	楚辺・大添	
3月1日（火）	渡具知・比謝・牧原	
3月2日（水）	大湾・比謝町	
3月3日（木）	古堅	
3月4日（金）	大木・長田	
3月7日～15日	指定日に申告できなかった人	

※今年から各字公民館での移動申告受付が廃止されましたので、混雑をさけるため地域別に指定日を設けました。申告期限間近になりますと大変混み合い、待ち時間が長くなりますので、指定日での申告にご協力をお願いします。

村・県民税の移動申告相談会（公民館での申告受付）を廃止しました

これまで、申告受付期間における税務課窓口の混雑緩和と、住民サービスの一環として移動申告相談会を「23字」すべての公民館において実施してきましたが、年々公民館における受付申告数は減少しています。

これに対し、役場内の申告受付会場は、職員の外勤と近年の所得税の確定申告者が増えたことも相まって、大変混雑している状況です。

このように、移動申告相談会は日程及び職員配置とも大変厳しい状況にあり、公民館での受付数を考慮すると、申告会場は役場内に一本化する時期にあると判断しました。

身近な公民館を利用してきた地域住民の皆様には不便をおかけしますが、役場内申告会場の職員配置を充実させることにより、公民館では取り扱いができなかった所得税の還付申告等も含め、待ち時間の少ない申告案内ができるよう努力してまいりますので、村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

所得税の確定申告は e-Tax (イータックス) で!!

平成23年2月1日～3月15日の間、役場1F村民ホールにe-Tax専用の端末を設置します。この機会にご利用ください。
※申告終了間近になりますと、大変混雑します。早めの申告をお願いします。

e-Taxで確定申告をしますと、下記のようなメリットがあります!

○最高5,000円の税額控除

申告期限内にe-Taxで確定申告を行うと、所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます(平成19年分から22年分の間でいずれか1回。)

○添付書類を提出省略

所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等の提出又は提示を省略できる場合があります。

○還付金がスピーディー

e-Taxで申告された還付申告は処理期間が短くなる場合があります。



e-Taxを利用するためには、本人確認のために電子証明書が必要です。

電子証明書は住民基本台帳カードとあわせて取得する必要があり、役場住民年金課で交付しています。

e-Taxの確定申告に関するお問い合わせは 役場1階 税務課 ☎982-9206



電子証明について

公的個人認証サービスは、平成16年から始まりました。有効期間は発行の日から3年間です。なお、現在の証明書が失効した後も、随時、更新手続きを行うことにより、新しい証明書を発行することができます。

■有効期限の確認方法

1. 電子証明書の写し(紙媒体)での確認
2. 公的個人認証サービス利用者クライアントソフトの証明書表示ツールによる確認

■更新手続きの方法

1. 持参していただくもの
 - ①更新する電子証明書が格納された住民基本台帳カード
 - ②本人確認のための写真付きの証明書(例:運転免許証、パスポート等)
 - ③印鑑
 - ④発行手数料 500円
2. 手続きの際の注意事項
 - ①失効期限前(3ヵ月前)から更新手続きできます。
 - ②申請は本人に限ります。
 - ③発行には20～30分かかります。

3. 手続き方法

役場1階住民年金課窓口で手続きできます。

受付時間 9時～11時30分、13時～15時30分

☎982-9207

※平成23年3月31日までは交付手数料が無料です。
詳しくは12P下段をご覧ください。



沖縄税務署からのお知らせ

源泉徴収義務者のみなさまへ

- 平成22年分の「給与所得の源泉徴収票」及び「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」の提出期限は平成23年1月31日(月)です。
- 法定調書の提出はe-Tax(光ディスク等)で!
自宅やオフィス、税理士事務所からe-Taxを利用して提出できます。
- 「所得税徴収高計算書」の提出はe-Taxが便利!
- 源泉所得税の納付は、ダイレクト納付(電子納税)がたいへん便利!
お問い合わせ: 沖縄税務署 ☎938-0031 (自動音声番号2)
国税庁ホームページのアドレスは、www.nta.go.jpです。



比嘉蕃信氏が 総務大臣表彰を受賞

平成22年10月13日(水)に読谷村行政相談委員の比嘉蕃信さんが総務大臣表彰を受賞しました。これは、永年にわたって行政相談委員として国民の行政に対する苦情の解決に尽力され、その業績が特に顕著で他の模範になると認められる方に対して、その功績をたたえるものです。

比嘉蕃信さんは、平成7年から読谷村行政相談委員を務め、これまで村民の要望や苦情の解決に尽力してきました。先日、村長に表彰報告を行い、村長からは、長年にわたる行政相談業務への感謝の言葉とこれからますますの活躍を期待して、激励の言葉が述べられました。



九州地区公民館大会で 読谷の2公民館が事例を発表



地域の公民館活動の一層の充実・発展を図るための九州地区公民館研究大会が平成22年11月10日～12日の3日間に行われ、読谷市と浦添市を会場に行われ、読谷村から読谷村ふれあい交流館(村文化センター)と高志保公民館が出席して事例発表を行いました。ふれあい交流館は「ヤチムン出前講座」と「サークル委託講座」を、高志保公民館は1年間を通しての公民館活動の事例を用い、公民館による地域の生涯学習等について発表しました。九州各地から集まった関係者は両公民館の発表に熱心に耳を傾けていました。

11月16日は 「いもの日」です

村は、平成13年から毎月16日を「イモの日」としていますが、沖縄県も昨年(2010年)11月16日を「いもの日」と決めました。平成22年11月16日(火)、村総合福祉センターで「いもの日」記念セミナーが開催され、村商工会の西平朝吉事務局長による紅イモを活かした村おこしについての講演やパネル展示が行われ、読谷村、沖縄県の特産品としての「イモ」をアピールしました。



民生委員と児童委員が 改選されました



平成22年12月1日(水)、民生委員と児童委員が一斉改選(定員62名)され、新旧役員が村長に表敬訪問を行いました。民生委員、児童委員は社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行うことで、社会福祉の増進に努める役割があります。任期は1期3年のため、平成25年11月30日までとなります。今限りで24名の方が退任なされ、新たに24名の方が新任されました。

うつ病が【10倍よく解る】 講演会

うつ病を解りやすく知るための講演会(主催:村社会福祉協議会)が12月8日(水)、村総合福祉センターで行われました。集まった約200名の参加者は講師を務めた徳田毅医師(とくだいし)内科(院長)の話真剣な面持ちで聞いていました。「毎日の生活が充実していない」「これまで楽しんでやれていたことが楽しんでやれなくなった」最近、そのような感じているあなた、実はうつ病かもしれません。

役場福祉課は「心の健康相談」を毎週月曜日と水曜日の午前中に設けております。相談者の秘密は守られますので、少しでも気になる方はどうぞご利用ください。



年頭あいさつ



読谷村長
石嶺 傳 實

村民の皆様、新年明けましておめでとございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

まず始めに、私は、昨年二月の村長選挙で安田前村長の後を受け、初めて村政の舵取りという重責を担わせていただくことになりました。これまで諸先輩が築き上げてきた歴史と伝統を大切にしながら「村民と共に歩む二十一世紀のむらづくり」に努め、皆様から寄せられた信頼と期待に応えてまいります。

さて、振り返ってみますと昨年は、村長選挙を皮切りに、参議院議員選挙、村議会議員選挙、県知事選挙が実施され、まさに選挙の年でした。九月の村議会議員選挙では、新たに議員となられた方四名を含む十九名の皆さんが見事当選されましたが、リフレッシュした議会の皆様とともにこれからの読谷村のむらづくりに取り組んでいけることを、心から楽しみにしています。また、全国高校総合体育大会「美ら島総体」が開催された年でもありました。本村では男子ソフトボール競技が実施され、読谷の子どもたちが多く在籍する読谷高校、

嘉手納高校が出場し、大いに盛り上がりました。読谷高校は女子ソフトボール競技にも出場しており、男女アベック出場を果たしています。

この大会で活躍した読谷高校の津波真希投手は、その後U19日本代表として第四回アジア男子ジュニアソフトボール選手権大会にも出場しました。

今年も、ソフトボールをはじめ様々な場面で多くの子どもたちが活躍できることを願っています。

一方、読谷飛行場跡地の村民センター地区に読谷中学校が完成し、新しい校舎で授業がスタートしました。七月には陸上競技場の起工式が行われ、現在工事が着々と進んでいます。また、農用地部分では、土地改良事業が始まっています。一部に不法占拠の問題があり事業実施に多少の支障が出ていますが、今年の早い時期に司法の判断が示されることになっていきます。その結果を受けて今後さらに読谷飛行場の跡地利用が推進されると確信しています。

軍用地の跡地利用は、読谷村の大きな課題ですが、読谷飛行場跡地以外でも関係者のご理解とご協

力のもと跡地利用に向けた取組が着々と進展しています。今後、数年のうちには、村内の様子も大きく変わっていくことでしょう。

そのひとつの形として、予てから村民の皆さんの要望が強かった「ファーマーズマーケット」が今年三月に完成し、四月にはプレオープンする予定です。

村内外から多くの皆さんが訪れるであろう「ファーマーズマーケット」には、軍用地の跡地利用の中で生産基盤を整備し生産性を向上させることにより得られる農産物販売する場としてだけでなく、住民が「知」恵を出し合い、商品を「産」み出すことで「地」元が盛り上がり、「笑」顔が満ちあふれた地域になる、「知産地笑」(地産地消をもじった造語ですが)の中心的な役割を果たしてくれることを期待しています。

今、もずく井やとうがんパイ、あかねロールといった農水産物を使った新しい特産品が続々と開発されていますが、そのような新しいアイデアを生かした商品の発表の場として、さらにヤチムンや花織なども含めた村の特産品の「ヨーウインドウ」としての役割を担って欲しいと思っています。

また、順調にいけば今年の夏頃にも村の人口が四万人に達します。全国的に人口減少傾向にある中で、読谷村は毎年着実に人口が増加しています。今後、軍用地跡地利用の中で区画整理事業等により宅地整備が進めば、さらに増加すると予想されます。

人口の増加と共に、村民の皆様か

らの村行政に対するニーズも多様化していくものだと思います。昨年から始まった村民円卓会議等を通じ村民の皆様のご意見に耳を傾け、積極的にコミュニケーションを図りながら「みんなで作る創造の村」「共に働く協働の村」そして「その成果を共感できる感動の村」を目標に、都市と農村が調和した便利で住みよい誰もがこころ豊かに暮らせる村づくりに取り組んでいきます。

その他、今年も、第五回世界のウチナーンチュ大会が開催されます。また、ワールド王修会空手古武道世界大会が村内で開催されることも決定しています。

南北アメリカやハワイのウチナーンチュ、ユンタンザンチュのほか、ヨーロッパをはじめ世界各国からたくさんの方が我が村にいらつしやいます。村民皆で歓迎し、読谷村のよさを大いにアピールしましょう。

寅年の昨年は、厳しい社会情勢の中でしたが、未来に向け文字通り虎のように勇ましくスタートすることができた年だったと思います。卯年の今年も、兎が跳ねるように力強くジャンプアップできる年になりたいものです。社会を取り巻く状況は、今年も決して楽観できるものではありませんが、村民が一致団結して取り組めば読谷村はこれからの益々発展できると信じています。どうか、今年も村民の皆様のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後になりますが、今年一年の皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

謹賀新年



読谷村役場

村長	石嶺 傳實
副村長	池原 栄順
総務企画部長	儀間 敏光
建設経済部長	比嘉 隆雄
生活福祉部長	仲宗根盛和
会計管理者	玉城 隆
総務課長	與那覇 準
企画財政課長	與那覇 操
税務課長	新垣 正吉
農業推進課長兼 農業委員会事務局長	福地 政勝
商工観光課長	長浜真佐夫
土木建設課長	新城 直喜
都市計画課長	知花 毅
跡地利用推進課長	大城 友誼
住民年金課長	知花 春美
健康保険課長	大湾 勇
福祉課長	喜瀬 栄
こども未来課長	山内 勝美
健康環境課長	真栄田敏光
健康増進センター 事務長	山内 猛
診療所事務長	高山 朝慎
会計課長	饒平名俊江
水道課長	比嘉 憲友

年頭のご挨拶



読谷村議会議長
新垣 修 幸

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

2011年の年頭にあたり、読谷村議会を代表いたしました。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。村民の皆様におかれましては、ますます健康で希望に満ち溢れた輝かしい「卯年」を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の国内情勢は長引く景気低迷の中、国民所得の減少や雇用の縮小など、国民生活は益々厳しい状況下にあります。また、尖閣諸島海域での漁船衝突事件、ロシア大統領の国後島訪問などの領土問題、進展が示されない普天間飛行場問題等で国内外が大きく揺れ動いた年でもありました。そのような中でも、鈴木章氏・根岸英一氏のノーベ

ル賞の受賞は国民に夢と希望を与え、また、興南高校の甲子園春・夏連覇は記憶に新しく、県民に大きな感動と感銘を与えました。

昨年、四年に一度の統一地方選挙の年に当たり、まさに選挙の年でもあり、二月に執行された村長選挙においては、村政初の戦後生まれの石嶺村長が誕生しました。新たな時代の創造に向け、若き村長に大きな期待を寄せる所でございます。八月には待望の読谷中学校移転が完了し、新たな学び舎での生徒達の元気な声が響いております。また、長年の懸案事項でございました(仮称)読谷村健康増進屋外施設(陸上競技場)の建設も着工されることともに、地産地消の拠点施設となります(仮称)読谷ファーマーズマーケットも着工され、

村民の福祉向上はもとより、地域活性化に大きく貢献できるものと期待いたします。在アルゼンチン読谷村人会結成50周年記念式典が2010年11月21日に挙行され、ブラジル村人会との交流会が23日に行われて、石嶺村長とともに参加いたしました。記念式典及び交流会は、地元関係者をはじめ、多数の村出身者の参加のもと盛大に催されました。これまで入植地では幾多の困難な時期に遭遇しながらも、今ここに村人会の皆様が各分野で活躍されていることに感銘を受けるとともに、先達のご苦労に対し敬意を表する次第でございます。また、今や南米県人社会は二世・三世・四世の時代であり、母村である読谷村とを結ぶ新たな交流・支援態勢の重要性を認識しました。滞在中は、村人会の皆様方の心温まる歓迎をいただき、この紙面を借りて感謝とお礼を申し上げます。

市民の皆様への負託に誠実にお応えできるよう、議員一丸となって諸問題の解決に鋭意取り組んでまいり所存でございます。また、議会活性化の取り組みとして、県内で初の制定となった「議会基本条例」に基づき、議会報告会・地域懇談会を継続して実施しております。これからも議員個人々の資質の向上はもちろんのこと、より村民に身近な議会・開かれた議会を目指してまいりますので、村民各位の叱咤激励をよろしくお願いいたします。

結びに、地方分権が推進される中「自己決定」「自己責任」という地方自治の本旨に基づき、多くの村民の声を行政に反映できるように、執行部とも十分議論を深め、村勢発展のために鋭意努力して参りたいと存じます。村民各位のなご一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

議会におきましては、昨年9月に執行されました村議会議員選挙で現職14名・元職1名・新人4名の新たな議員が誕生しました。新たな議会構成の中、村

謹賀新年



読谷村議会

議長 新垣 修幸

副議長 照屋 清秀

議員 知花 徳栄

比嘉 郁也

仲宗根盛良

伊波 篤

當山 勝吉

大城 行治

當間 良史

上地利枝子

山城 正輝

城間 勇

嘉手苺林春

津波古菊江

山内 政徳

長浜 宗則

上地 栄

伊佐 眞武

國吉 雅和

事務局長 松田 修

明けまして
おめでとようございませす。



読谷村教育委員会 教育長
比嘉 源 勇

平成二十三年の新しい年を迎え、村民の皆様方に謹んで新年のあいさつを申し上げます。昨年、村教育行政に對しまして、村民の皆様方のご支援とご指導、ご協力を賜り誠にありがとうございます。ありがとうございました。

読谷中学校校舎は昨年の夏休みに完成し、二学期からは新校舎で諸活動が展開されております。工事関係者、移転作業で協力いただきましたPTA等の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

また、昨年は全国高等学校総合体育大会の男子ソフトボール競技が本村で開催されました。大会期間中、台風の接近等で天候には恵まれませんでした。全国から集った高校生達はベストを尽くして競技に取り組んでくれました。雨の中、競技運営に関わった関係者の皆様、そし

て大応援団で地元読谷高校チームを激励くださいました村民の皆様、本当にありがとうございます。

さらに、夏の甲子園大会での沖縄県勢初優勝は県民に大きな感動と、沖縄の子ども達も「やればできる」という大きな希望を与えてくれました。中でも「日常生活を見直すことをチームづくりの基本とした」との関係者のコメントが教育に携わる者としては強く印象に残っております。「わか竹の 伸びゆくごとく 子どもらよ 眞すぐに伸ばせ 身をたましひを」。本村の子ども達がすすく成長し、それぞれの「夢実現」のためにも、まずは日常の生活リズムをきちんと確立することが大切ではないかと考えております。

教育委員会としても、学校・家庭・地域等と連携して、その

取り組みの充実に努めたいと思います。村民の皆様方のご協力等をよろしく願います。次に、昨年教育委員会が取り組んだ主な事業や子どもたちの活躍状況をご紹介します。

『教育総務課』

- ▽読谷中学校校舎改築工事▽読谷小学校校舎防水塗装工事
- 『学校教育課』
- ▽各学校ごとの学対実践報告会と村学力向上対策実践報告会の開催▽海外ホームステイ事業（中学生十二人派遣）▽県童話・意見発表会最優秀賞（小五）▽各

- 幼小中学校に特別教育支援員を配置▽各幼稚園で「預かり保育」を実施▽小三・中一学習支援員の配置▽全国及び九州大会への選手等の派遣（中学男子サッカー、中学男子ソフトボール、ゴルフ競技、ジュニア水泳競技大会、中学女子柔道競技、英語スピーチ、空手（小三）、少年野球、サッカー（小五）など）

『生涯学習課』

- ▽子ども会交流事業の実施（鳥取県米子市）▽「学びフェスタ」の開催▽放課後子ども教室事業の実施▽新春トリムマラソン、小学生駅伝大会の開催▽全国高

等学校総合体育大会の開催▽ヤチムン出前講座の開催▽図書館講座等の開催

『文化振興課』

- 歴史民俗資料館
- 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録十周年記念事業の実施▽沖縄戦終結六十五周年記念企画展▽夏休み子ども向け企画展

○美術館

- 美術館開館二十周年・歴史民俗資料館開館三十五周年・読谷山花織事業協同組合設立三十五周年記念特別企画展「読谷山花織展」▽第三十回読谷アンデパンダン展▽秋の美術展・沖展会員新作展（工芸の部）▽收藏品展（絵画・彫刻の部）▽收藏品展（陶芸・ガラスの部）▽児童生徒作品展▽新収藏品展（陶芸・漆器・織物）『学校給食調理場』
- ▽中学校卒業記念バイキング給食の実施▽学校給食展（学びフェスタ）▽学校給食ポスター・作文・標語コンクールの実施▽地産地消会議の開催（毎月）

以上、教育委員会の一年の歩みを箇条書きで列記致しました。村民各位のさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。年のあいさつといたします。

謹賀新年



教育委員会

教育委員長 喜屋武洋子

委員長職務代行 松田 平次

教育委員 知花 喜子

教育委員 大城 盛雄

教育長 比嘉 源勇

教育次長 與儀 優

教育総務課長 小橋川清弘

学校教育課長 上地 栄春

生涯学習課長 玉城 秀友

文化振興課長 仲宗根 求

給食調理場所長 知花 俊治

美術館長 与久田健一

文化センター館長 大湾 榮

村立図書館長 福地江美子

青少年センター長 幸喜 政子

よみたん

貝南録

みんな遊びにおいでよ 第14回保育まつり

「子どもの豊かな育ちをねがって」をテーマに第14回保育まつり（主催：同実行委員会）が11月20日（土）村文化センター鳳ホールにて盛大に開催されました。締め太鼓をオープニングに、村立、認可、計6保育施設の園児たちによる元気なダンス、職員や母子保健推進員による劇、南風楽による童謡等が次々と披露され、盛大な拍手が鳳ホールに響き渡りました。また、文化センターでは園児の描画や保育所紹介パネル、給食の展示、食生活改善協議会によるおやつコーナー、民生委員児童委員による沖縄の玩具紹介も行われました。



第18回 読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会



大会結果（男子の部）

優勝：あげな中学校A（初優勝）
準優勝：あげな中学校B
三位：北中城中学校、読谷中学校

スポーツを通して生徒の心身鍛練と健全育成を図り、県中学校ソフトボールの発展と技術向上に努め、チームの相互の親睦を図ることを目的に「第18回読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会」（主催：中頭地区中学校ソフトボール同好会 共催：村教育委員会共催）が、平成22年11月21日、27日、28日に村運動広場を主会場に開催されました。

大会には、男子8チーム、女子23チームが参加、新人戦の前哨戦ということもあり、全試合で白熱した熱戦が展開されました。

大会結果（女子の部）

優勝：嘉手納中学校（2年連続2度目）
準優勝：あげな中学校
三位：大里中学校、嘉数・北中城・山内中学合同

沖縄初のサクソスの祭典 サクソフォニーフェスティバル沖縄

沖縄県におけるサクソフォン界全体（プロ・アマ・学生・世代・ジャンル関係なく）の発展を願い、沖縄県のサクソフォン奏者・愛好家を中心にしたサクソフォンの祭典が12月5日（日）、村文化センター鳳ホールで開催されました。全4部のステージでは村内の学生や小平武村観光協会会長も演奏に参加したほか、石嶺村長がタクトを振るう読谷村歌も披露されるなど、演奏者と村民が一体となった演奏会でした。



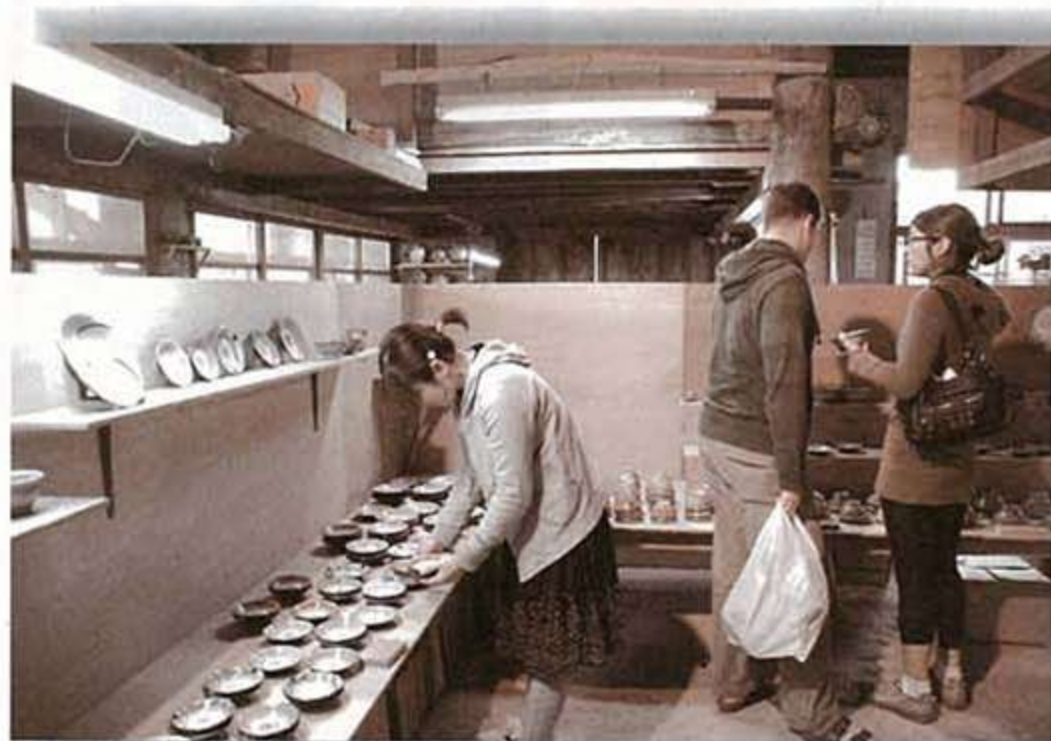


第16回子ども芸能祭

平成22年12月11日（土）、村文化センター鳳ホールで「第16回子ども芸能祭」が開催され、多くの観客が詰めかけました。「子ども芸能祭」は、郷土の伝統芸能の継承をとあして、子どもたちの健全育成を図ることを目的に毎年行われています。子どもたちによる空手の演武や琉舞、フラダンスなどが披露されると、観客から惜しみない拍手が送られました。

つながる未来—クルチの杜を次世代へ

全島緑化県民運動の一環として第3回黒木の杜づくり植樹祭（主催：読谷村黒木の杜づくり推進会議、読谷村、野村琉古典音楽保存会、沖縄タイムス社）が12月19日（日）、座喜味城跡公園内で行われ、約100名の参加者が900本のクロキを植えました。クロキは三線の原材料として使用されますが、その数が減少傾向にある中、将来にわたって、沖縄の伝統芸能と木の文化を子々孫々に継承していくため、今回の植樹が行われました。今回植えたクロキが三線の材料に使える大きさに成長するには100年かかると言われています。100年先の座喜味城跡にはきっと立派なクロキの森ができているでしょう。



第30回読谷山焼陶器市

平成22年12月17日から19日にかけて、第30回読谷山焼陶器市が読谷山窯及び北窯で開催されました。読谷山窯と北窯の八つの工房の前広場には作品が所狭しと並べられ、通常より二、三割安いとあって多くのお客さんが訪れ、じっくりと品物を吟味していました。

訂正とお詫び

広報よみたん平成22年12月号の6頁の記事「機織り続けて40年 花織組合の桃原トミさんがトーチ祝」の記事中に誤りがありました。【40代の頃に後継者育成事業を受講して以来】の部分が正しくは【40代の頃に花織愛好会に所属して以来】となります。訂正してお詫びいたします。

「第2回読谷村円卓会議を開催しました」

第2回村民円卓会議が、平成22年12月3日（金）に読谷村役場3階庁議室にて開催されました。第2回は「～健康づくりを語る村民円卓会議～」をテーマに、読谷村ホームページ等による一般公募や、村体育指導員、村商工会、健康増進センター利用者等に募集をし、世代・職種・団体やいろいろな分野の枠を超えた10名の村民の方々の参加がありました。

会議では、読谷の健康に関する現状、読谷村の素晴らしいスポット、健康づくりを続けていくコツなど、さまざまな立場から活発な意見交換がおこなわれました。

本会議における意見、アイデア等は、さらに吟味しながら今後の「健康づくり」へ繋げていけるよう取り組んで参ります。



自治基本条例はなぜ必要なのか・・・⑥

読谷村第4次総合計画基本構想とどう違うの？

読谷村第4次総合計画基本構想とは平成20年から10年間の読谷村のむらづくりの指針を示し、それを実現するための基本的な施策を総合的、体系的に組み立てたもので、「こういうむらにしたい。そのためにこういう考えで、これらの事業を行う」という指針を示したものです。一方、自治基本条例はむらづくりの基本原則、村民の権利や責務、行政や議会の組織・運営に関する事項など「むらをつくる際には、こういうルールで」というむらづくりの基本的なルールを定めたものです。

読谷村第4次総合計画基本構想とは「こういうむらにしたい。そのためにこういう考えで、これらの事業を行う」という指針を示したもので、自治基本条例は「むらをつくる際には、こういうルールで」というむらづくりの基本的なルールを定めたものです。



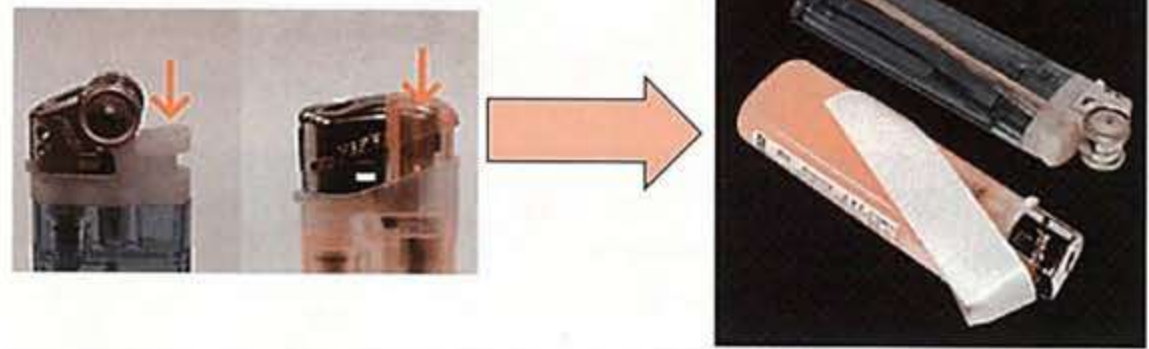
ライターは正しく捨てましょう！

不要なライターは**ガス抜き**してから捨てましょう！！

- ・日本国内では年間6億個のライターが流通しており、そのほとんどがプラスチック製の**使い捨てライター**です。
- ・**使い捨てライター**は『**もやせないごみ**』に分類されます。

ガスの抜き方の例

※火の気のないことを確認し、
風通しのよい屋外で行いましょう。



注意事項

- ① 周囲に火の気のないことを確認する。
- ② 操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
- ③ 輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。
- ④ 『シュー』という音が聞こえれば、ガスが噴出している。（聞こえない場合は炎調節レバーをプラス方向にいっぱい動かす）
- ⑤ この状態のまま付近に火の気のない、風通しのよい屋外に半日から1日置く。
- ⑥ 念のために着火操作をして、火が着かなければ、ガス抜きは完了です。

（参考：社団法人日本喫煙具協会HP <http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>）

海外移住者子弟研修生修了報告

～研修生が研修報告、フラワーデザイン・三線を披露、エイサーや島太鼓を上映～

平成22年度読谷村海外移住者子弟研修生の儀保マイラ友恵さん（ブラジル）が5ヶ月間の研修を終了し、その報告会が11月26日（金）に行われました。

報告会では、研修で学んだ日本語による研修報告を行い、研修先や関係者へ感謝の気持ちを述べました。また、エイサーや島太鼓のビデオ上映、フラワーデザインや三線を披露し、参加者から大きな拍手が湧き起こりました。

読谷村海外移住者子弟研修生受入協力会を代表して会長の池原副村長は「この5ヶ月間で得た経験を今後の人生に生かし、読谷とブラジルの架け橋になってほしい。」と激励しました。

研修内容は日本語の授業をはじめ書道・墨絵、フラワーデザイン・生け花、三線、陶芸のほか、職場体験で、村内の小・中学校を見学し日本の教育環境について学びました。その他にも渡慶次エイサーや島太鼓も体験しました。

研

修

風

景



研修報告

（抜粋）

沖縄でのこの5ヶ月間は間違いなく今までの人生の中でもっとも素晴らしい日々でした。夢のようでした。私は、この沖縄で学ぶ機会を頂き、とても恵まれていると思います。

ここで過ごしたこと、感動したこと、とても言葉では表せません。ヒスパニック文化センターで5ヶ月間、日本語の勉強や陶芸、書道、墨絵、生け花に専念しました。学校の他にも、渡慶次青年会のエイサーやひげい子先生の島太鼓に参加させて頂いた喜び、また皆様方の気遣いやご指導に大変感謝します。

授業の他にも本場のウチナーの伝統を身近に感じ、学ぶことができました。ともに過ごした日々は大変素晴らしいです。

今、私はウチナーンチュウとして喜びと誇りで胸がいっぱいです。とても素晴らしい研修で、あつという間に時間が過ぎました。夢のようでした。

この5ヶ月間で少しずつではありますが、読み書きができ、そして話せるようにもなりました。本当にありがとうございました。

この研修のおかげでたくさんの方たちもできました。また、おもしろいことに、他の研修生の影響でスペイン語も少し話せるようになりました。私にとって皆、大事な宝物です。また、みんなと再会できることを楽しみにしています。

おじいちゃんの故郷読谷村へ研修生として来ることができ、また沖縄を知る素晴らしいチャンスを得た喜びをどうやって表して良いかわかりません。

読谷村役場の皆さん、そして村民の皆さん、またブラジル読谷村人会の皆さん、この私に素晴らしい人生の経験を与えてくれて大変ありがとうございました。心より感謝いたします。



20歳になったら忘れずに国民年金の加入手続きを

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残ったときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

国民年金は、国が責任をもって運営していますので、支給される年金の半分の額が国の税金から負担されるなど、とても有利で安心な制度です。

義務と権利

日本国内にお住まいの20歳から60歳になるまでのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。



加入の手続き

学生や自営業者などの方で、20歳になって第一号被保険者となる方は、お住まいの市区町村役場で直接、手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第二号被保険者の方や、その第二号被保険者に扶養される配偶者の第三号被保険者の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

保険料の猶予・免除

国民年金の第一号被保険者の平成22年度の保険料額は、月額1万5,100円です。

学生であるなど、収入が少ないために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、老後の年金を受けられなかったり、年金額が低くなる恐れがあります。また、「万が一」のときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

また、学生以外の一般の自営業者の方などは、経済的な理由等により保険料の納付が困難なときに、ご本人の申請によって「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」を利用することもできます。

申請手続きなど詳しくは、お住まいの市区町村役場、または最寄りの年金事務所にお問い合わせください。

お問い合わせ：役場1階住民年金課 ☎982-9207
：コザ年金事務所 ☎933-3437

住民基本台帳カード(住基カード)の交付手数料が平成23年4月1日から有料になります

住民基本台帳カード(住基カード)は、普及促進・拡大を目指す総務省の方針を受けて、平成20年7月1日から平成23年3月31日までは無料となっています。平成23年4月1日からは「読谷村手数料徴収条例」に基づき交付手数料500円が必要になります。

※住基カードの交付申請の際には、本人確認のできる書類が必要です。詳しくは役場1階住民年金課(☎982-9207)までお問い合わせください。

住基カードには写真付きと写真なしの2種類があり、どちらかを選ぶことができます。写真付きは公的な証明書として利用できます。



めざせ！健康ゆんたんざ

ズグズグ始めよう ダイエット!!

新しい年を迎え今年こそは『ダイエット』と目標を立てている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？目標を立ててもなかなか減らない、減らせたけれどすぐに戻ってしまった、ということにならないよう上手に痩せたいですね。

食べる量を減らすだけのダイエットは禁物です。食べないので当然摂取カロリーは少なくなり、体重も減りますが、同時に筋肉量が落ちて基礎代謝量も減ってしまいます。

食べない事を続けるほど脂肪をため込みやすい体質になり、簡単にリバウンドして元の体重より増えてしまうことも・・・ご飯などの主食を食べないダイエットがこのような体質をつくります

ダイエット中でも100gのご飯は必要です。（コンビニのおにぎり1個が目安）自分に合ったペースでゆっくり摂取カロリーを減らし、同時に運動を行うことが大事です。

普段の行動が筋肉強化、肥満解消にも

今まで運動をしていなかった人が急に運動を始めると体への負担が大きく長続きしにくいです。運動する時間がないという方も、まずは毎日の生活の中で出来ることから始めましょう。

★ 立ち仕事をしている時にかかとを上げて、つま先立ち

効果：ふくらはぎや太ももの筋肉強化

★ 椅子に座っている時は背もたれを使わず、背筋をまっすぐに伸ばして座る

効果：背筋や腹筋強化 同時にかかとを上げた状態を保つと足の筋肉が鍛えられる。

足腰が痛くて運動が出来ない方もこのような動作で筋肉強化、基礎代謝量アップにつながります。



体の使い方のちょっとした工夫で消費カロリーは高まります。

消費カロリーは体重に関係します。同じ運動をしても体重の軽い人より重い人のほうが消費量は高くなりますし、筋肉の多い人も消費量は高くなります。動作を大げさにする、こまごま動くなど簡単なことから始め、体が慣れてきたら徐々に運動量を増やしていきましょう。

活動	エネルギー消費量 (kcal/分)
大またで早歩き	0.08
ジョギング	0.14
階段の上り下り	0.1
その場で足踏み	0.06
掃除機かけ	0.05
腹筋	0.15
水中ウォーキング	0.12
ボウリング	0.64
ゴルフ	0.08

←隣の表をもとに消費カロリーを計算してみよう。

エネルギー消費量（表1）×現体重（kg）×運動時間（分）で算出できます。

（例）体重60kgの人が大またで早歩きを30分間すると、 $0.08 \times 60 \times 30 = 144$ となり144kcal消費することになります。これは缶ビール(350ml)1本分やキスチョコ約6粒分に相当します。食べすぎ飲みすぎには注意したいものですが、我慢ばかりではストレスにもなります。心が不健康ではせっかくのダイエットも台無しです。摂取カロリーと消費カロリーのバランスを考え、心身ともに健康で楽しいダイエットにしたいですね！

～こども・みらい通信～ 乳幼児期の健康づくり⑤

人間としての基礎を育てる「遊び」

◆遊びとは？

子どもは、日常生活の中で、見たり、触れたり、匂いをかいだり、といういろいろな経験を通して、『認識』を深めていきます。子どもにとっての遊びとは、日常生活の活動を通して人間としての基礎をつくっていくことだと言えます。



遊びの中で感覚を働かせ、いろいろな刺激を受けたり、運動をしたり、想像（知識や経験をもとにして心に思い描くこと）や、創造（新しいものを自分の考えで造り出すこと）をしたり、他人とのコミュニケーションなど、基本的なことを身に付けていきます。また、ルールや数の数え方など、将来の学習につながることも学ぶことができます。

遊びは繰り返すことで洗練されていきます。興味のあることは繰り返し「遊びこむ」ことで動きもスムーズになっていきます。だんだん上手になることで自己肯定感もはぐくまれ、自信を持って新しいチャレンジもしていけるようになります。

◆どんな遊びがいいの？

乳幼児の成長には「弱くて楽しい刺激」が有効と言われています。たとえば朝起きた時は太陽の光を感じ、鳥の声が聞こえ、外に出ると風が吹き、草がゆれている音を感じ、お父さんやお母さんが絵本を読んでくれた時には意味はわからなくてもその声の調子を感じたり…、そういった刺激が子どもの基本的な部分の脳を育てます。

体を使った遊びなど直接的な体験を通して運動をすること以外にも様々な感覚を働かせ、知的な学びの基礎、根っこになる経験をしていきます。外に出て自然の中で得られる驚きや感動は、おうちの中ではできない経験です。

まずは親子での触れ合いが大事です。抱っこ、ほおずり、笑いあう、見つめあう、優しくなでる、話しかける、手遊びや歌、子どもの言葉を聞く…などを通して、親子の愛着が育ちます。お友達に興味が出てきたら、お友達とも一緒に遊ばせてあげてください。大人との関係とは違う中で子どもはルールや譲り合うことを学んでいきます。

【テレビやゲームの影響】

テレビやDVD、ゲームなどは、高度な脳の部分を働かせるため、基本的な部分の脳を育てておきたい乳幼児期の子どもには特に悪影響があります。

今の時代、すべてを排除することは不可能ですが、テレビなどの時間を少なくして外遊びや親子のふれあいの時間をつくるなど、気をつけてください。

子どもにとって何よりも「楽しむ」ことが大事です。
楽しい遊びを通して、お子さんにいろいろな体験をさせて
あげてくださいね。

健康カレンダー

【こども未来課からのお知らせ】

☎ 982-9240

● 1歳6ヶ月児健康診査

2歳の誕生日までに1回受診できます。自宅で使用しているマイカップ、マイ歯ブラシを持参してください。

期日：平成23年1月12日(水) ※平成21年6月生まれ
平成23年2月9日(水) ※平成21年7月生まれ

場所：生き生き健康センター 2階

受付時間：13時～14時

内容：問診、身体測定、尿検査、貧血検査、小児科健診、歯科健診、歯磨き指導(フッ素塗布)、保健相談、栄養相談

● 2歳児健康ひろば

3歳の誕生日までに1回受診できます。自宅で使用しているマイカップ、マイ歯ブラシを持参してください。

期日：平成23年1月13日(木) ※平成20年10月生まれ
平成23年2月10日(木) ※平成20年11月生まれ

場所：生き生き健康センター 2階

受付時間：13時～14時

内容：問診、身体測定、歯科健診、歯磨き指導(フッ素塗布)、保健相談、栄養相談

● 3歳児健康診査

4歳の誕生日までに1回受診できます。自宅で使用しているマイカップ、マイ歯ブラシを持参してください。

期日：平成23年1月11日(火) ※平成19年6月生まれ
平成23年2月8日(火) ※平成19年7月生まれ

場所：生き生き健康センター 2階

受付時間：13時～14時

内容：問診、身体測定、尿検査、目の検査、耳の検査、歯科健診、小児科健診、歯磨き指導(フッ素塗布)、保健相談、栄養相談

● こども健康相談

こどもの身体面や育児上お困りの方のために“こども健康相談”を設けています。お気軽に來所ください。

期日：平成23年1月24日(月)

場所：役場1階健康環境課前相談室A

時間：9時～16時

内容：こどもの発達、予防接種、身体測定などの相談

● こども心理発達相談

心の発達面が気になる方のために、こども心理発達相談を設けています。心理相談員がご相談に対応します。毎月一回の完全予約制になっています。

場所：役場1階健康環境課前相談室A

内容：こどもの心の発達や言葉の遅れなどの相談

● のびのびクラブ(親と子の遊びの教室)

乳幼児健診等を受けたあと、遊びを通してお子さんの成長と一緒に確認し、より、その子にあった子育てを保護者と一緒に考えていく場としてのびのびクラブを開催しています。毎月一回の予約制です。

● 子育てサポート情報

・ 村子育て支援センター ☎958-3025

親子で参加できます。たくさんのお友達と遊んで集団生活に慣れることができます

・ つどいの広場 ☎957-3370

0歳～3歳までの親子が一緒に遊べます

・ 子育て支援サポートくるくる ☎090-6869-6860

有償で一時預かりできます

【健康環境課からのお知らせ】

☎ 982-9211

● 個別特定健診

医療機関で特定健診を受けていただくことができます。ご予約の上、受診券と保険証を持参してください。村内医療機関は別冊の健康カレンダーをご覧ください。

ありがとうございました

村地域福祉振興基金への寄付

☎ 982-9209

◆ 香典返し

當山 千代子様(故比嘉 ヨシ様)

伊波 春子様(故清喜様)

大木 126
伊良皆 559

5万円
5万円

村育英会への寄付

☎ 982-9228

◆ 寄付

野村 登美子様

大木 365

5万円

村文化振興基金への寄付

☎ 958-3141

◆ 寄付

平良喜代子様(中部警備保障合資会社)

伊良皆 413

10万円

社会福祉協議会への寄付

☎ 958-2939

◆ 寄付

第5回読谷やちむんと工芸市実行委員会様 高志保 915 (Gala青い海)

14万5500円(チャリティーバザー収益金)

仲村 定光様

比謝 30

10万円

大城 美智子様(トーカー祝)

高志保 87

2万円

山城 盛吉様(百歳祝)

座喜味 150

5万円

山城 ツネ様(カジマヤー祝)

瀬名波 554

3万円

新垣 苗様(カジマヤー祝)

瀬名波 554

3万円

◆ 香典返し

我如古 トヨ様(故カメ様)

長浜 154

5万円

比嘉 順一様(故順繁様)

楚辺 2139

10万円

島袋 守様(故トヨ様)

座喜味 109

3万円

真玉橋 朝雄様(故元様)

喜名 315

10万円



図書館だより

読谷村立図書館

☎ 958-3113

http://www.lib.yomitani.jp



読書週間関連行事を行ないました

■大人の為の夜の朗読会

平成22年11月18日(木)、「命・絆・自分自身を見つめる」をテーマに、上地ちあき氏のピアノ演奏に合わせて、赤嶺美千代氏、大濑由美子氏、神谷乗好氏が朗読しました。参加者からは「命の尊さを感じました」「とても、感動しました」などの声がありました。



■『歴史から学ぶ～私が出会ったハンセン病問題』

平成22年11月20日(土)、ハンセン病について各地の取り組みや歴史の始まり、差別問題や人権問題について話がありました。受講者からは、「事実を知ることから差別のない社会作りを目指したい」などの声がありました。

■図書館に全国訪問「おはなし隊」がやってきた!

平成22年12月5日(日)に、全国訪問「おはなし隊」が図書館を訪れ、絵本や児童書約500冊を積んだキャラバンカーの見学やおはなし会を楽しみました。



【新着本紹介】

受入期間

11月11日～12月5日

『食べてボカボカおいしいあつたれレシピ』
牧野直子/著 講談社
しょうがやとうがらし・根菜・んにくなど、からだをあたためる食材を使ったレシピを紹介。

『ミイラの大研究』近藤二郎/監修 PHP研究所
人間の遺体をそのまま保存した世界中のミイラを紹介し、そのはじまりやつくりかたなどミイラに関する知識を説明。

『自分で出来る屋敷拝み』佐久本義夫/著 宝来社
旧暦の2月、8月12月の年3回行なう「屋敷拝み」。各月によって異なる期間や拝み方、事前準備などを紹介する。

『ポケット』三浦太郎/さく・え 童心社
ポケットからのぞいている頭。ページをめくると、「ピヨ!」と、ひよこが出てきた。次のポケットからは何が出てくるのかな?

など268点

古典文学講座 『万葉を心の糧に』

～歌に親しむ・古典に学ぶ～

日時:平成23年1月29日(土) 14時～15時30分

場所:読谷村立図書館 集会所

講師:田場裕規氏

(沖縄国際大学総合文化学部日本文学学科講師)

定員:30名 ※定員に達し次第締め切ります。

共催:沖縄国際大学

《定例行事》

■キッズおりがみクラブ

☆平成23年1月8日(土)・22日(土) 10時30分～

講師:山内 源徳氏

■ビデオ上映会 *第3日曜日

☆平成23年1月16日(日) 11時～ 集会所にて

- ・『福は内! 鬼は外!』
- ・『一ねんくみシリーズ「いちばんワル」』
- ・『アンパンマン「雪だ! スキーだ! みんなですべろう!」』

■おはなし会 *第4日曜日

☆平成23年1月23日(日) 11時～ おはなしの部屋にて



まなびフェスタ読谷

★ふるさとの民話を語り継ぐ「むねがだい」読谷

沖縄各地で伝え聞いた話を紹介します。

日時:平成23年2月5日(土)

開場:13時30分 開演:14時(2時間程度)

場所:読谷村文化センター 中ホール

★リサイクルフェア

保存年限が過ぎて、図書館での役目を終えた雑誌などを、村民の皆さんへ無償で譲渡します。

日時:平成23年2月6日(日) 10時～16時まで

※雑誌などがなくなり次第終了します。

詳しくは村立図書館へお問い合わせください。

きゅうしよく通信

読谷村立学校給食調理場

☎ 982-8081



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、気持ちも新たに学年最後の学期がスタートしました。

今年もよく食べ、しっかり運動をして、すくすく成長し、強い体をつかってほしいと思います。調理場でも子どもたちのために、おいしく安全で魅力ある給食となるよう努力してまいりますので、よろしくお祈りします。



1月24～30日は 全国学校給食週間です

戦後、食べ物がないときに、日本の子どもたちを助けようと、世界中の国々から粉ミルクや缶詰めなどが送られてきました。

『全国学校給食週間』は、この世界中の人々の温かい心によって、学校給食が再会されたことを記念する週間です。

この期間を通して、給食の歴史をふり返り、食べ物大切さや作る人の思いを知り、感謝の気持ちをもって食事をするのできる、みなさんになってほしいと思います



■学校給食費は、期限内に納めましょう■



写真説明：メス成虫

成虫の大きさは雄で28〜35、雌で33〜35、(翅(はね)に黄色と褐色のマダラ模様が見られることから、「マダラコオロギ」と呼ばれます。触角が長く、体の2倍から3倍もあります。本種はコオロギの名前がついていますが、マツムシの仲間です。雄は昼夜を問わず、「ジツ、ジツ・・」または、「ツンツン」

読谷の自然(176)

昆虫類 116

～マダラコオロギ～

(マツムシ科)

と小さな声で鳴きます。本種は、国内ではトカラ以南の琉球列島に生息し、国外では台湾に分布します。県内における成虫の出現の時期は7〜12月で、幼虫は全身暗褐色のすじがはいる非常に地味な体色で、翅(はね)がありません。コオロギの仲間は落葉の下や草の中などに隠れていることが多いですが、本種は木の幹や葉、またクワズイモなどの葉の上に群がっていることが多く、草食性で森の中や林道沿いで数多く観察することが出来ます。採食するときには、森縁からその外にまで出現し、特に夕方近くに集中して採食します。餌植物はクワズイモやゲットウ、カラムシ、イヌビワなどで、これらの植物の葉を穴だらけにし、硬い葉脈を残して、食べ尽くします。意外に警戒心は強く、近寄るだけで、いつせいにジャンプして飛び立ち、中には羽を開いて滑空し遠くまで逃げるものもいます。村内では、親志のイタジイ林、佐敷森などのようなまとまった広葉樹林を中心に生息し、その林内や林道沿いで見られます。

文：高原建二

(県立美咲特別支援学校)

写真：小浜継雄

(沖縄県農業研究センター)

沖縄児童・青少年演劇ジョイント・フェスティバル2011

「どえらいでえ！ミヤちゃん」 読谷公演

主催：沖縄児童・青少年演劇ジョイント・フェスティバル実行委員会

日時：平成23年1月23日(日) 開演：14時

場所：村文化センター鳳ホール

料金：(4才以上)前売り1,200円 当日1,500円

お問い合わせ：文化センター ☎982-9292

この事業は劇団たんぼぼの役者の皆さんと読谷村、宜野座村、東村の子どもたちがひとつの舞台作品を創り3村で公演する事業です。読谷村からは大木の徳武佐太鼓(和太鼓)が出演します。

劇団たんぼぼ 読谷村・大木徳武佐太鼓

1月16日(日)	1月21日(金)	1月23日(日)
宜野座村文化センターからまんホール 15:00開演(14:30開演) 出演：中山やんやん、中山やんやん	東村中央公民館 18:00開演(17:30開演) 出演：大木徳武佐太鼓	読谷村文化センター鳳ホール 14:00開演(13:30開演) 出演：大木徳武佐太鼓

～読谷村・宜野座村・東村の子どもたちはすべての公演に出演します！～

料金：(4歳以上)前売り1,200円 当日1,500円

お問い合わせ：文化センター ☎982-9292

文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」
沖縄児童・青少年演劇ジョイント・フェスティバル2010

「どえらいでえ！ミヤちゃん」読谷公演

主催：沖縄児童・青少年演劇ジョイント・フェスティバル実行委員会

日時：平成23年1月23日(日) 開演：14時

場所：村文化センター鳳ホール

料金：(4才以上)前売り1,200円 当日1,500円

お問い合わせ：文化センター ☎982-9292

この事業は劇団たんぼぼの役者の皆さんと読谷村、宜野座村、東村の子どもたちがひとつの舞台作品を創り3村で公演する事業です。読谷村からは大木の徳武佐太鼓(和太鼓)が出演します。



▲合同稽古の様子

文化センターから「ミュージカルワークショップ」参加者募集のお知らせ

文化創造の拠点である文化センターを活用し異年齢交流の場をつくる、コミュニケーション能力を育成し、体験をとおして自分を表現することの楽しさを学ぶ。

次年度実施予定の創作子どもミュージカル公演に関連する事業です。

期間：平成23年2月11日～27日の土日 参加料：無料

対象：村内の小学3年生～中学2年生 定員：40名

応募の方法：詳しくは各小中学校配布の申込みチラシをご覧ください。

お問い合わせ：文化センター ☎982-9292



役場からのお知らせ

代表 ☎982・9200

平成23年度読谷村役場臨時職員名簿登録についてのお知らせ

総務課人事福利係

☎982・9200

読谷村では、臨時職員名簿登録者を募集いたします。臨時職員の採用については、臨時職員名簿へ登録後に選考採用となります。名簿登録の受付期間及び職種については、左記のとおりです。

名簿登録受付期間：平成23年2月7日～28日

職種：一般事務職、保育士、幼稚園教諭、司書、栄養士、保健師、調理員、学校プール管理人

※保育士、幼稚園教諭、司書、栄養士、保健師については有資格者となります。

採用期間：平成23年4月1日から1年間において6カ月以内（必要な場合は更新可能）

※学校プール管理人は5月から10月のみです。

提出書類：市販の履歴書（写真貼り付け）

提出先：役場3階総務課人事福利係

無料法律相談のお知らせ

総務課行政係

☎982・9201

金銭関係、不動産、家庭内問題、サラ金などのお困りごと、相談ごとは、無料法律相談へ。

※秘密は厳守します。

期日：平成23年1月19日（水）

場所：役場3階

相談者：抽選により10組

抽選時間：11時

※先着順ではありません

相談時間：13時～16時

相談担当者：村顧問弁護士

特設人権相談所開設

総務課行政係

☎982・9201

那覇地方法務局沖縄支局

☎937・3278

いじめ、DV、差別など人権に関わることから、家庭内のもめごとなどお困りになつて居ること、どのようなことでもお気軽にご相談ください。相談は無料で、法務大臣から委嘱された

人権擁護委員が対応し、秘密は固く守られます。

日時：平成23年2月3日（木）10時～16時

場所：役場3階大会議室

相談員：読谷村人権擁護委員

児童生徒作品展・新収蔵品展

村立美術館 ☎958・2254

期間：平成23年1月16日（日）まで

休館日：毎週月曜日・平成23年1月1日～3日・1月11日

場所：村立美術館

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

入館料：大人200円（160円）・小中高生50円（40円）

※（ ）内金額は40名以上の団体割引

第23回 平和創造展

戦前・戦後の教育くせからの出発

企画財政課 ☎982・9205

戦前、戦中、戦後において子どもたちがあかれた境遇を「教育」という視点から紹介することに

より、戦前の同化政策や戦後の基本的人権の獲得、平和な生活の構築に向けた「闘い（取り組み）」

を学び、現在、私たちが抱える課題をとらえ、今後の平和創造

につなげる機会とします。

期間：平成23年1月17日～28日

場所：役場1階村民ホール

国・県等からのお知らせ

地デジ機器購入を支援します（最大1万2000円）

地デジ機器購入を支援します（最大1万2000円）

地デジ支援し隊事務局

☎951・2700

県内在住で、世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯などを対象に地デジ機器の購入費用を支援します。

BPO・コールセンター等事務職のための就職支援講座

沖縄県中部中央地域雇用創造協議会 ☎860・7515

日程：平成23年2月1日～3月1日 平日9時～16時

対象：県内在住の求職者で早期の就職を希望する方、講座の全日程を受講できる方

定員：25名（面接による選考あり）

会場：沖縄尚学院（沖縄市上地）

内容：BPO概論、簿記、パソコンなど

受講料：無料（テキスト代等も無料）
申込：平成23年1月25日（火）16時まで

面接選考：平成23年1月27日（木）

子育てママの就職講座（託児可能）

沖縄県中部中央地域雇用創造協議会 ☎860・7515

子育て中のお母さんを対象とした就職講座が行われます。

対象：就職を希望する女性で全日程を受講できる方

内容：パソコン入門講座、就職対策講座

受講料：無料
定員：20名

講習期間：平成23年1月24日～2月28日 平日9時～16時

場所：嘉手納町マルチメディアセンター

申込先：電話で受け付けます。

申込締切：平成23年1月18日（火）16時まで

平成23年度職業訓練生募集のお知らせ

沖縄県立具志川職業能力開発校 ☎973・6680

募集科名：電管施工科、自動車整備科、建設機械整備科、メディア・

アート科、情報システム科、製

図科（身体障がい者コース）、OA事務課、販売実務科（知的障がい者コース）

募集期間：平成23年2月1日～15日
授業料：無料（教材代、検定料は

自己負担)
 沖縄県介護保険広域連合 介護保険料嘱託徴収員の募集について

沖縄県介護保険広域連合
 ☎921・7802

職種：介護保険料嘱託徴収員
 資格：普通自動車運転免許所持者
 で運転歴2年以上の者かつ年齢60歳未満で健康な方

業務内容：臨戸訪問による介護保険料の納付勧奨及び保険料徴収制度の説明。
 勤務地域：村内一円
 報酬：月額13万5000円他に加算有り
 待遇：社会保険、雇用保険適用
 任用期間：1年間(更新可能)
 応募方法：自筆履歴書(写真貼付)を沖縄県介護保険広域連合か福祉課へ持参か郵送(履歴書は返却しません)

応募先：〒904-0197北谷町北谷2-6
 2 沖縄県介護保険広域連合
 募集期間：平成23年1月15日～31日
 選考方法：面接試験により決定する。

取引や証明に使用している「はかり」は必ず定期検査を受けましょう

沖縄県計量検定所

☎8809・1981

検定等に合格した「はかり」でも使用していると精度のくる

いが生じることがあります。そこで、取引や証明に使用する「はかり」については2年に1回定期検査を受けることが義務付けられています。読谷村は今年度が検査の年です。はかりの種類によって異なる手数料がかかりますので予めご確認ください。
 場所：役場1階会議室A(健康環境課隣)
 日時：平成23年2月15日(火) 時間：10～12時、13～15時
 県が行う定期検査以外にも「代検査」という制度があります。詳しくはお電話下さい。

カヌー体験をしよう

沖縄県立石川青少年の家
 ☎964・3263

マングローブ林でのカヌー体験を通して沖縄の春の息吹を体感しませんか

内容：カヌー 野鳥観察
 日時：平成23年2月13日(日)
 場所：金武町徳首川河口
 料金：1人1500円

対象と定員：小学生以上の家族40名程度(初めての方優先)
 申込方法：電話で受け付けます(3日前からのキャンセルはキャンセル料が発生します)。

申込期間：平成23年2月1日～9日

持ち物：弁当、着替え、雨具など

「美ら島オキナワ CenturyRun2011」1月16日開催!

美ら島沖縄センチュリーラン大会事務局
 ☎862・1960
 FAX 861・1308

「日本一早い桜と碧い海を走る」をテーマにサイクリングイベント

「美ら島オキナワ CenturyRun2011」が開催されます。このイベントの魅力はレースではなくロングライドということ。競技ではなく自分自身の目標や体力に合わせて、沖縄の素晴らしい景色の中を自転車を趣味とする仲間と楽しみましょう。大会当日は選手を身近で応援することが出来ます。是非選手に声をかけてあげてください。また道路を使用しますので競技中は安全への協力もよろしく願います。

日時：平成23年1月16日(日) 7時～18時

1月10日は110番の日です

●110番は事件、事故等の緊急時の警察への通報電話です。イタズラ電話等や緊急性のない場合は緊急時の通報が遅れる場合がありますので、イタズラ電話等はやめましょう。

●電柱番号やモノレールの支柱番号で発生場所や現在地を特定できるので、近くに建物がない場合は電柱番号等を通報してください。

●携帯電話で110番通報する際は、所在地や番地、目標物を確認してから通報し、通話中はできるだけり場所を移動しないでください。

おきなわマラソンに伴う交通規制のお知らせ

おきなわマラソン実行委員会
 ☎930・0088

おきなわマラソンに伴い、次の区間では交通規制が行われます。
 期日：平成23年2月20日(日)
 時間：9時～15時15分

※レース中は、各地で交通規制が行われます。警察官や大会役員の指示、案内標識に従って交通規制へのご協力をお願いいたします。また、応援などでのコース上の駐車は危険ですのでご注意ください。

ニライ消防本部

救急出場及び火災・救助発生件数

▼救急出場件数(平成22年11月)

種別	町村名	読谷村	嘉手納町	北谷町
火災		0	0	0
自然災害		0	0	0
水難		0	1	0
交通		5	4	11
労災		2	0	0
運動競技		0	0	0
一般負傷		23	3	13
加害		2	0	1
自損行為		0	1	1
急病		91	33	46
転院		11	2	5
その他		0	0	0
不搬送		3	3	10
月計		137	47	87
平成22年累計		1590	595	1175

- ▼11月 火災発生件数 0件
- ▼11月 一般救助発生件数 0件
- ▼11月 風水害発生件数 0件

交通規制時間



きて・みて・さわって体験しよう
~いつでも・どこでも・だれでも学べる~



まなびフェスタ読谷2011

とき：平成23年 2月 5日(土) ~ 6日(日)
ところ：文化センター(鳳ホール・ふれあい交流館)
じかん：10時~17時まで

まなびフェスタ読谷は、読谷村の生涯学習・社会教育の祭典です。
体験事業をとおして、親子や子どもたち、地域の方々と楽しくふれあえる
たのしい一日を、どうぞお過ごし下さい…
~多くの皆さんのご参加をお待ちしています~

2月4日(金) 19:00 鳳ホール
興南高校野球部監督
我喜屋 優 氏講演会
「スポーツをとおした指導者の役割」
~家庭教育から学校教育、地域活動やスポーツ指導をとおした人材育成~



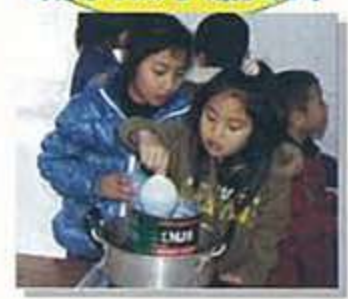
2月6日(日) 15:00開演
グループ・サークル舞台発表会
ふれあい交流館の
グループ・サークルの
すてきな舞台をどうぞ…



2月5日(土)~6日(日)
団体活動写真展
公民館、グループ・サークル、子ども会
婦人会・読子連・青年会など

2月5日(土)~6日(日)
みんなで体験しよう!!
キッズ体験村・各種体験コーナー
だれでも楽しく参加できる
体験コーナーがいっぱい!!
もちつきもあるよ!!

2月5日(土)~6日(日)
お食事どころ
からだにやさしい料理や
なつかしい学校給食コーナーなど、
みんなでおいしく楽しめます



まだまだ、たくさんのイベントを準備しております…
お気軽にお越し下さい!!

2月6日(日) 10:00開始
リサイクルマーケット「宝市」
掘り出し物いっぱい!!
リサイクルを楽しもう☆



※イベントに関する詳しいお問い合わせは下記までどうぞ。
お問い合わせ先 読谷村文化センター ☎982-9237
生涯学習課 ☎982-9231

11月末の村人口

人口	39,810 (+29)
男	19,779
女	20,031
出生 [44]	転入 [103]
死亡 [27]	転出 [91]
世帯	13,850 (+20)

()内は前月比



ユタサル ファンシ
ゆたさある 風水
マサル チムグル
優る肝心
サチフクル ハナヤ
咲き誇る文化や
ガンジュウヌ シマ
健康の村